

【お知らせ】福岡導水の導水管の管内調査について ～筑後川からの取水を止めて行う本格的な調査～

独立行政法人水資源機構^{みずしげんきこう}が管理する福岡導水の導水管は、昭和58年の通水開始以来32年が経過しています。

水資源機構では、この導水管の劣化状況等の確認を行うために、筑後川からの取水を止めて導水管を空にし管内調査を行います。

今回の調査は、水道用原水として筑後川の水を福岡都市圏及び佐賀県基山町に導水している管水路区間（鋼管 直径1.5m）の一部（約14.5kmのうち約6.9km。昨年度6.1kmを実施）を空にして行うもので詳細は別紙1のとおりです。

なお、今回の調査に伴い空になった導水管内部を報道機関の皆様にご公開いたします。詳細は別紙2のとおりです。

1. 調査期間 平成28年1月19日（火）～28日（木）
（筑後川からの取水の停止及び導水再開のための操作等に要する期間を含みます。）

2. 報道機関への公開日 平成28年1月22日（金）15：30～

☆取材を希望される場合は、事前に下記お問い合わせ先にご連絡下さい。



平成28年1月14日

独立行政法人水資源機構 筑後川局

発表記者クラブ

国土交通省九州記者会
九州建設専門記者クラブ
佐賀県政記者クラブ

お問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 筑後川局 総務課長 ^{かわい よし ゆき} 河合佳之
住 所：福岡県久留米市東町42-21
電 話：0942(34)7001

<http://www.water.go.jp/chikugo/chikugo/>

福岡導水管の管内調査

概要

福岡都市圏及び佐賀県基山町のライフラインとして水道用原水を供給している福岡導水の導水管は、昭和58年の通水開始以来、32年が経過しています。

独立行政法人水資源機構では、今後も長期にわたって福岡都市圏、佐賀県基山町のみなさまへの福岡導水による安定した用水供給を持続するため、管内調査により導水管の劣化状況等を的確に判断するとともに、調査結果により対応が必要な箇所や事項については、将来の保全対策も含め検討してまいります。

今回の調査は、筑後川からの取水を止めて導水管を空にして、内部から劣化状況等を調査するもので、普段は確認できない導水管内面の状況を詳しく把握するため行うものです。

調査等の期間

平成28年 1月19日(火)～28日(木)

(筑後川からの取水停止及び導水再開のための操作等に要する期間を含みます。)

調査対象区間

No. 3 制水弁（福岡県小郡市西福童地先）から基山分水工（佐賀県基山町園部地先）までの約 6.9 Kmの区間における管水路（鋼管 直径 1.5 m）。[別図参照]

調査内容

- ・ 目視による発錆等の管内面の変状調査
- ・ 簡易な計測器を用いた管内の変形量、塗膜の状況及び管厚等の計測 など

調査期間中の水道用原水の確保

筑後川からの取水を止めている期間は、天拝湖（山口調整池：福岡県筑紫野市）から必要な水道用原水を供給します。

別紙 2

調査状況等の公開について

空^{から}になった導水管内部の状況を次により報道機関の皆様に公開いたします。

日時：平成28年 1 月22日(金) 15：30～17：00
(受付15：00～)

場所：水資源機構 筑後川局 福岡導水管理室（高野揚水機場）
福岡県久留米市高野 1 丁目 1 番地 1 号 [別添案内図参照]

公開内容

導水管（鋼管 直径 1.5m）の内部の測定器具等による調査状況等

備考

- ①福岡導水管理室から管内調査場所(公開場所)までご案内いたします。
- ②導水管内には堆積土砂等があり、足下が悪いため、汚れてもよろしい服装及び靴を持参願います。
- ③導水管内は非常に狭い(直径 1.5m)ため、一度に入坑できる人数を制限させていただきます。(受付順)
- ④導水管への入出坑は、はしご等を昇降することになります。撮影機材の携帯については、ご注意願います。
- ⑤その他の施設(ポンプ、操作室等)について撮影のご希望がある場合は、取材希望のご連絡の際、お申し出下さい。

別図

調査対象区間



【案内図】

水資源機構 福岡導水管理室

